該当学年	授　業　科　目　名	担　当　教　員	
１部２年	社会的養護Ⅱ★	竹中　直	
サブタイトル	社会的養護観を身につける	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	４／５以上

到　達　目　標

１．　社会的養護の基礎的な内容について理解する
２．　施設養護及び家庭養護の実際について理解する
３．　社会的養護にかかわる相談援助の方法と技術について理解する
４．　社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する

ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連

本科目は、とくに「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す。
保育士資格取得後、職業選択のひとつとして「施設保育士」を志向する場合がある。
各種施設において求められる「保育士像とは何か」を探る。

授　業　の　方　法

演習形式の授業形態を基本とする。
場合によっては遠隔授業もある。
毎回の授業内容を定着するために、グーグルクラスルームを用いて振り返りを行う。
授業に主体的な参加を行うために、アクティブ・ラーニングの手法をおり込んだ授業方法を取り入れる

テキスト・教材・参考図書

テキスト：とくに指定しない。
教　　材：必要に応じてプリントを配付する。
　　ＤＶＤ等視聴覚教材を活用する。
参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領　幼稚園教育要領　保育所保育指針』
　　チャイルド本社　2017 年
　　社会的養護のテキスト。適宜、参考文献を紹介する。

評　価　の　要　点	総合評価割合	
１．授業内で数回課題を設定し、レポート提出を求める	定期試験	60%
２．授業への取り組み姿勢・貢献度	レポート	30%
３．定期試験	授業への取り組み	10%

履修上の注意事項や学習上の助言など

日常的に、施設関連の情報に留意すること。

科　目　名　　社会的養護Ⅱ

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	＜ ガイダンス＞ 授業方針の確認 保育士資格と各種施設との連関について理解する	保育士資格についての再確認
2回	＜社会的養護の内容＞ （1）社会的養護における子どもの理解と支援の基本	社会的養護、家庭養護の理解
3回	（2）社会的養護における保育士の専門性	社会的養護に従事する保育士の専門性を理解する
4回	＜社会的養護の実際＞ （1）児童養護施設・乳児院	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
5回	（2）母子生活支援施設	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
6回	（3）児童自立支援施設	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
7回	（4）知的障害児施設	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
8回	（5）肢体不自由児・重症心身障害児	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
9回	＜保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践＞ （1）虐待された子どもへの支援	社会的養護の実践を制度を通じて理解する
10回	（2）親子関係の調整・家族機能回復への支援	親子関係の調整・家族機能回復について理解する
11回	施設養護と個別援助技術	個別援助技術について理解する
12回	施設養護と集団援助技術	集団援助技術について理解する
13回	地域連携と家庭支援	地域連携と家庭支援について理解する
14回	＜まとめ＞ 授業内容の総括を行う	社会的養護の課題と展望について理解する
試験	定期試験	